



小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第4号 H21.7.31
編集 : SSH推進委員会
発行責任者 : 早川弘志

★★★★★ 科学的探究力、人間力、自己表現力、国際感覚の育成をめざす ★★★★★

平成21年度 SSH研究発表会

7月8日(水)、本年度のSSH研究発表会を開催しました。平成18年に小松高校は文部科学省より「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定を受け、本年度は4年目になりました。今回は2つの学校設定科目、①「ECⅡ(2年理数科)」、②「スーパーときめきサイエンス(1年理数科)」を公開授業としました。また、午後の研究協議会では様々な意見が交わされ、数多くのアドバイスもいただきました。当日は県内の中学、高校の教員、県外の高校の教員など多くの方々にご参加いただき、本校にとって有意義な一日となりました。

学校設定科目 「ECⅡ」

担当 : 寺西 純之教諭 セバスチャン・クルトイ (ALT)

2年理数科を対象としたECⅡ(English for CommunicationⅡ)は、1年次のECⅠ(English for CommunicationⅠ)で身につけた知識や能力をベースにして、より発展的な英語運用能力を身につけることを目指した学校設定科目です。今回の公開授業では、昨年度の課題研究の中から題材をいくつか取り上げ、各グループで英語版の読み上げ原稿及びパワーポイント・スライドを作成し、英語でプレゼンテーションを行うという取り組みの過程が紹介されました。これは、8月3・4日に金沢工業大学で予定されている「工学部(橋づくり)実験セミナー」や、3年次の学校設定科目「スーパーグローバル」での英語によるプレゼンテーションにつながることを目指した内容となっています。生徒たちは堂々と英語で発表し、また、聴衆の生徒からは英語での質問や感想も飛び出しました。最後にALTのセバスチャンから適切な助言と刺激的な励ましの言葉を受け、生徒たちは金沢工業大学でより効果的なプレゼンテーションが実現できることでしょう。



学校設定科目 「スーパーときめきサイエンス」

担当 : 荒川 富夫教諭 兵地 梓教諭

スーパーときめきサイエンスでは理科4分野すべてを網羅できるように、1学期には生物・地学の実験などを取り入れた授業を行っています。今回は生物選択者にはなじみのある浸透圧について、言葉だけではなく目に見える現象として理解してもらおうと思い、実験を行いました。班員で相談しながら試行錯誤する姿には理数科の生徒たちの強い探究心を感じさせられました。



研究協議会

学校長の挨拶、JST（科学技術振興機構）の吉田様のご挨拶、本校SSHの取り組みについての説明、2つの公開授業についての説明のあと、参加者からの質疑応答が行われました。質疑応答では、「理科4分野のカリキュラムの時間配分や評価」、「小・中学生のための科学教室の内容」、「海外交流の取り組み」等について話し合われました。最後に朝田指導主事より、今回の授業内容についての講評と今後の進め方についての助言をいただきました。



*** 全国生物学コンテスト「生物チャレンジ2009」 ***

日時：平成21年7月19日（日） 13:30～15:00
場所：金沢大学 角間キャンパス

今回は生物部の2年生5名（男子2名、女子3名）、1年生1名（女子）の計6名での参加になりました。問題はすべて選択式で、生物に関する知識や柔軟な思考力を試すものでした。現段階での知識では対応できない問題も多く、来年度以降は事前の対策にも力を入れていきたいと思えます。

*** 全国高校化学グランプリ2009 ***

日時：平成21年7月20日（月・祝） 13:30～16:00
場所：金沢大学 角間キャンパス

今回は理数科3年の男子1名、普通科理系3年の男子1名が参加しました。

《参加した生徒の感想》

- 150分の試験のあとに解答が配られた。解答をみて、自分の力が全く通用しなかったわけではないと分かって、少し安心した。しかし、空欄がわりと多く残ってしまったことが残念だ。この問題でも満点が取れる人がたくさんいるのではないかと思うと、あせりとやる気が出てくる。今日から、また頑張ろうと思う。